



No.29

# げんきカル



こども病院ニュースレター

## 駐車場運用の改善に向けて

総務部次長 長尾 洋

当院では、平成22年4月1日から、駐車場を円滑に運用できるように、有料化してゲート管理することにしました。

当院の駐車場は、從来からスペースが不足がちで、患者・家族の皆様からハートメッセージ等を通じて、苦情をいただくことも珍しくありませんでした。

また、駐車スペースを確保するために、早朝から來院する必要があるため、外来に予約制度を導入しているにも拘わらず、結果として待ち時間の削減がなかなか進まないという状況も生じさせていました。

そこで、当院としては、やむを得ない措置として、有料化・ゲート管理による駐車場利用の適正化に踏み切ることにしました。

患者・家族の皆様に、駐車場利用料金の負担をお願いするのはまことに心苦しい限りではあります。が、有料化・ゲート管理によって、不正な駐車を防止し、駐車場スペースを有効利用するために必要な措置ですので、よろしくご理解のうえ、ご協力賜りますようお願いいたします。

利用料金は、1時間100円ですが、外来診療等のために來院された患者・家族の皆様につきましては、時間に関係なく100円に減額されます。

その他、患者・家族の皆様には、具体的な事情に応じまして、できるだけの配慮をさせていただきたいと考えております。

詳しくは、病院の総務課にお尋ねください。



### 駐車場利用のお知らせ

当院では、駐車場の利用を円滑にするため、来る4月1日から機械管理を導入するとともに管理人を配置いたします。

それに伴い、4月1日から下記のとおり利用料金を徴収させていただきますので、よろしくお願いいたします。

記

#### 1 利用料金

外来診療のために來院される方 1回 100円  
その他、見舞い等のために來院される方 1時間 100円

#### 2 支払い方法

- ① 外来診療のために來院された方は、平日昼間は医事課「②支払い」窓口へ、平日夜間及び休日は事務当直室へ、駐車券を提示して利用料金の減額処理を受け、駐車場出口の自動料金精算機で料金100円を支払い、出場してください。
- ② その他の用務で來院された方は、駐車場出口の自動料金精算機で料金の精算を行い、出場してください。

## 「地域医療支援病院」として

総務部長 船曳 健次

昨年12月に、かかりつけ医の支援等を通じて地域医療の確保を図る医療機関として「地域医療支援病院」の承認を得ることができました。皆様方のご支援・ご理解に厚くお礼を申し上げます。

当院の役割である、周産期・小児医療の専門病院として高度・専門医療の提供はもちろんのこと、地域の医療に携わる方々への専門的な研修や医療支援をさらに積極的に進め、地域医療の発展に寄与してまいります。

施設面では、皆様方との交流の場として、小児救急医療センター前に「研修センター」を設置し、さらに充実した研修を提供するとともに、自由にご利用いただける図書室も設けました。

また、医療支援として、共同利用病床や共同利用機器の制度も整備いたしました。

是非、ご利用をお願いいたします。

問合せ先 地域医療連携室



## 最新鋭機種に変更されました!

### —放射線治療装置—

今年3月、放射線治療装置がSIEMENS社製「ONCOR Impression Plus」に更新されました。新装置は、複雑な病巣の形状に合わせた照射野の設定ができるMLC(マルチリーフコリメータ)が装備され、回転照射や原体照射なども行うことができます。また、放射線照射行う際に、治療寝台上の患者位置を照合、確認し、正確な放射線治療を可能とする照射法IGRT(Image Gated Radiation Therapy:画像誘導放射線治療)ができます。この照射法は治療対象である病巣に対して、従来の方法よりも正確な放射線照射が可能となるとともに、病巣周囲の正常組織に対して、放射線による損傷を軽減することが可能になります。最後に、治療

放射線部 小田 敏彦

を行うための基礎データ収集等がまだ残っており、実際に放射線治療が開始できるのは5月中旬予定です。





## 耳鼻咽喉科の紹介

耳鼻咽喉科部長 大津 雅秀

最近の耳鼻咽喉科の初診患者さんの数は年間700人前後です。その内訳として、多い順におおよそ、滲出性中耳炎200人、アデノイド・扁桃肥大130人、睡眠時無呼吸80人、慢性副鼻腔炎60人などとなっており大きな変動はありません。今回は耳鼻咽喉科で扱っている主な疾患についてご説明します。

滲出性中耳炎では急性中耳炎とは違って痛みや熱はありません。耳の閉塞感、耳を良く触る、呼びかけに対する応答が悪い(軽度難聴)などが主症状です。風邪症状とともに繰り返し発症したり、急性中耳炎が完全に治りきらずに滲出性中耳炎に移行する場合が多くみられます。治療期間が長期に渡ることがあります。根気強く局所治療を続ける必要があります。それでも改善しない場合には鼓膜換気チューブ挿入手術が必要です。当院では小児専門病院の特色を生かして乳幼児聴力検査で聴力を評価しつつ、日帰り全身麻酔手術も行っています。

アデノイドは鼻の奥、上咽頭にあるリンパ球の集まった扁桃組織です。幼児期に肥大し10歳頃には縮小します。肥大の程度が強いと鼻の通りが悪くなり、慢性副鼻腔炎や滲出性中耳炎の原因となることがあります。鼻呼吸が強く障害されると睡眠時無呼吸の原因となります。急性炎症による腫脹ではないので薬物治療は効果が乏しいことが多く、症状が高度であれば手術治療の対象です。当院では無呼吸の重症度の評価のために睡眠時の呼吸状態を記録する装置を貸出ししております。手術適応の判断に利用しています。

耳・鼻・のどは一つながりの管腔臓器であり、上記4疾患は密接に関係しています。耳の病気であっても鼻やのどの治療が重要であり、鼻の病気であっても耳の診察や検査も必要に応じて行なうことが大事です。鼻づまりが長期間続いている、聞こ返しが多くなったりの症状があれば耳鼻咽喉科を受診してください。



▲鼓膜チューブ挿入後の右鼓膜



▲左滲出性中耳炎  
鼓室内に貯留液が透けて見え、気泡が見える

### 2009年 手術件数

手術件数	入院手術件数		日帰り手術件数	
	口蓋扁桃摘出術	60	鼓膜チューブ挿入術	160
	アデノイド切除術	55	その他	8
	鼓膜チューブ挿入術	29		
	その他	5		

## 阪神タイガースの藤川球児投手が来院

血液腫瘍科部長 小阪嘉之



平成21年12月18日、7階病棟(血液主体病棟)のクリスマス会に併せて、阪神タイガースの押さえのエース、藤川球児投手

がお忙しいなか、来院してくださいました。

これは骨髓バンク事業に賛同し、同バンクを応援されている藤川投手が、日本骨髓バンクを通して、難治の血液疾患と闘病しているこども達を訪問して元気づけたい、という主旨から実現いたしました。

当日は、7階病棟のブレイルームで行われていたクリスマス会において、こども達とゲームをしたり、写真撮影に気軽に応じていただいた後は、ブレイルームまで出られないこども達のすべての病室をご訪問いただき、サインボールやサイン色紙を手渡していただきました。こども達、あるいは付き添いのご家

族、さらにはスタッフ(?)にとっては、予期せぬ嬉しいビッグなクリスマスプレゼントとなったようです。

藤川投手は非常に礼儀正しい反面、気さくなかたで、大変お忙しいなか、昼食も取らずに、時間ぎりぎりまで多くの色紙にサインをしていただけて、本当に感謝の気持ちでいっぱいの1日でした。

藤川投手、本当にありがとうございました。来季のご活躍を祈念しております。



◀骨髓移植を受けた  
患者さんの無菌室にも  
訪問いただきました



藤川投手がサインしてくれた  
多くのボールと色紙

## Concept

コンセプト

## 基本理念

周産期医療および小児医療専門施設として、母と子どもの総合的、高度専門的な医療を通じて、親と地域社会と一緒にになって子どもたちの健やかな成長を目指します。



## 基本方針

1. 子どもの権利を重視した医療の実践
2. 安心と信頼の医療の遂行
3. 専門的な高度医療の推進
4. 地域医療・保健・福祉機関との連携
5. 親と子の健康啓発活動への貢献
6. 子どもへの愛とまことに満ちた医療人育成

「げんきカエル」で取り上げてほしいテーマがありましたら、食堂前廊下の掲示板にあるテーマ応募箱へぜひよせください。

## 編集後記

今年の「桜」開花予想は、例年に比べ少し早いそうです。今月がお手元に届く頃には、満開になっているでしょうか?

さて、新年度がスタートし、気持ち新たに皆様により良い医療を提供するよう努めて参りたいと思います。今号の掲載にあたりご協力いただいた方々に感謝いたします。

担当は沙谷でした。

編集委員長:池尻 摘子  
編集専外担当:橋畠美香子  
編集委員:田中亮二郎 藤中 卓代 長尾 洋  
高橋 政晴 谷本江利子 藤田真理子  
沙谷 恵 西島 明子

本誌に関するご感想・ご希望・ご質問はこちらまで



**兵庫県立こども病院**  
周産期医療センター 小児救急医療センター

〒654-0081 神戸市須磨区高倉台1丁目1-1  
TEL 078-732-6961  
FAX 078-735-0910(総務課)  
FAX 078-732-6980(地域医療連携室)  
URL:<http://www.hyogo-kodomo-hosp.com/>  
E-MAIL:[info\\_kch@hp.pref.hyogo.jp](mailto:info_kch@hp.pref.hyogo.jp)